

山芋酸分解抽出物

ジオパワー15

中国雲南省昆明地域を中心に収穫される、ジオスゲニンやジオスゲニン配糖体が多く含まれる山芋を厳選して抽出を行い、ジオスゲニンを15%で規格化した粉末原料です。

滋養強壮素材、ダイエット素材、ホルモン素材などとしてサプリメントを中心とした健康食品にご活用いただけます。



1. ジオスゲニン高含有山芋の探索



元 九州大学薬学部助教授
野中 源一郎 先生

日本産の山芋の多くは、ジオスゲニン配糖体であるジオスチンの含有量が1%程度と低く、ジオスゲニンやジオスチンを効率的に抽出するには適していません。一方、中国産の山芋には、高いもので8%に達するものも存在します。ジオスチンは、苦味とえぐみの成分でもあるため、ジオスチンを多く含む山芋は、おいしくないため、好んで食されていない特徴があるようです。

本原料の開発者である野中源一郎先生（元九州大学薬学部助教授）は、昆明植物研究所で山芋からジオスチンを効率的に抽出するための山芋研究をなされました。数えきれないくらい山芋の分析を行い、安定的にジオスゲニンを得られるような山芋を発見しました。そして、中国雲南省昆明地域を中心とした地域で山芋を栽培し、本製品の原料となる山芋の供給を可能にしたのです。

2. ジオスゲニン含有率アップのための特殊加工

山芋には、多くの機能性を有するジオスゲニンが配糖体のジオスチンとして多く含まれます。ジオスチンを摂取すると体内で糖が加水分解されジオスゲニンが生成されると考えられています。一方、ジオスチンは吸収が悪いため、ジオスゲニンで摂取するのが好ましいのです。

本原料は、吸収が悪いジオスチンとしてはなくジオスゲニンを多くえるため、酸による加水分解の工程を踏んでいるのが特徴です。

3. ジオスゲニンの機能性

ジオスゲニンは、性ホルモンの中間体、DHEA (Dehydroepiandrosterone)と類似した構造をもち、近年、滋養強壮作用、脂肪燃焼作用など、様々な機能性が報告されています。最新の研究結果では、アルツハイマー病の効果も示されたりもしています。

また、オリンピックの金メダリストである短距離ウサイン・ボルト選手が「ヤムイモ（現地の山芋）が強さの秘密」と語るなど、近年、山芋の機能性はますます注目が高まっているのです。

4. 推奨摂取目安量

1日165～335mg（ジオスゲニンとして25～50mg）

※DHEAの摂取目安量を参考

5. ジオパワー15の組み合わせ使用例

<滋養強壮サプリメント>

ジオパワー15+マカ+亜鉛酵母（亜鉛として7～15m）

ジオパワー15+シトルリン（推奨：800mg）+亜鉛酵母（亜鉛として7～15m）

<美容&滋養強壮>

ジオパワー15+すっぽん+白キクラゲエキス+亜鉛酵母（亜鉛として7～15m）

<ダイエットサプリメント>

ジオパワー15+L-カルニチン（推奨：500mg以上）+生姜エキス

ジオパワー15+L-カルニチン（推奨：500mg以上）+オルニチン塩酸塩（推奨量：500mg）

ジオパワー15+生姜エキス+シトラスエキス

<ホルモンサプリ>

ジオパワー15+プエラリアエキス+大豆イソフラボン

<脳サプリ>

ジオパワー15+イチョウ葉エキス+レスベラトロール

ジオパワー15+フェルラ酸（推奨：100mg以上）

<アンチエイジング>

ジオパワー15+レスベラトロール+亜鉛酵母（亜鉛として7～15m）・セレン酵母

その他、DHEAの代替えサプリとしてもご利用いただけます。